

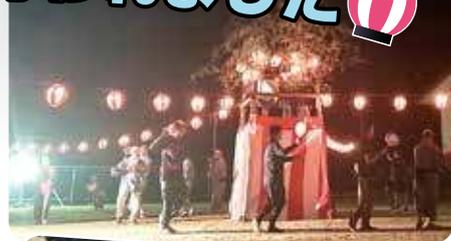
ちくさえとこ通信

盆踊り特集 ①

No.28

2024.9.15 発行

今年も6自治会で盆踊りが行われました





ちくさ杉の子こども園



1学期の終わりに参観日があり、保護者と一緒に楽しみました。

＜活動のねらい＞

- ・ 1歳児 「お家の人と一緒に好きな遊びをする」
- ・ 3歳児 「自分の作った物で、お家の人や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ」
- ・ 4・5歳児 「友達やお家の人と思いや考えを出したり、イメージを出し合いながら遊びを楽しむ」



子ども達は保護者と一緒にそれぞれの遊びを楽しみました。参観後はクラス懇談で園での様子、家庭での様子などの意見交換をし、有意義な時間を過ごすことができました。

2学期も子ども達が健やかに過ごせるようご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。



「はこブロックをつんだよ」

さくらんぼ組 (1歳児)



「ゆうぎしつに こうこくのすなぼをつくったよ」

りんご組 (3歳児)

「このざいりょうでなにをつくろうかな」

クラス懇談



オレンジ・メロン組 (4.5歳児)

ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

千種小学校



☆体験活動から学ぶ☆



3年生
いまい農場体験

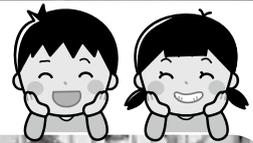
5年生
自然学校発表会



15年10月
命の授業



百聞は一見にしかず。体験して学ぶことは楽しく心にも残ります。1学期も子どもたちの為に、担任を中心に自然学校やいまい農場体験等、各学年教科の横断的関係を考え、つながりのある体験活動を実施しました。どの子どもとびきりの笑顔です。



☆毎日を大切に生きる☆

千種小学校では、異年齢のつながりを大切にするため、全校児童を8つのグループ（ファミリー班）に分けて活動しています。様々な活動や行事、清掃などをこのグループで行い人間関係を構築しています。



～お誕生日集会～



～座学も大切に～

わ
れ
ら
ち
く
さ
の
こ
ど
も
園

千種中学校

【7年生 ものづくり体験教室】

6月に校外学習でものづくり体験館に出かけました。文鎮づくり班とフラワーアレンジメント班に分かれて、兵庫の匠から指導を受け世界に一つの作品作りを行いました。

匠からは「楽しそうに熱心に作業をする子どもたちで、こちらも楽しくなる」とお言葉をいただきました。



◀文鎮班



▲フラワーアレンジメント班



【8年生 トライやる・ウィーク お菓子作り】

6月3日から7日までの5日間トライやるウィークでお世話になりました。初めての職業体験で職業について学ぶ貴重な体験となりました。

5月に茶摘み体験を実施しました。その時摘んだ茶葉で抹茶・緑茶・ほうじ茶等を製茶したりお菓子作りにも挑戦したりしました。



▼プログラミング作業による作品



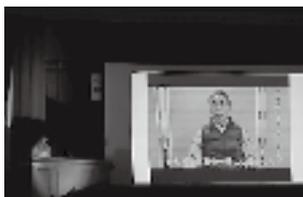
【9年生 学習会】

夏休みを利用して、9年生を対象に「前田塾」と称し学習会を開きました。「基礎基本コース」「発展応用コース」があり、1、2年生の復習や受験に向けて対策を練るなど、各自で課題を設けて取り組んでいました。

解らないところを質問したり、互いに教えあったりしながら充実した学習会を行うことができました。

★総合的な探究の時間成果発表会

2・3年生が総探の成果について、多くのご来賓をお招きしステージ発表とポスター発表をしました。



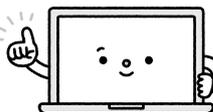
★小中高合同田植え

地域の皆様のご協力があり今年も特別栽培米「ちくさの舞」の田植えを終えることができました。稲刈りは9月27日に予定しています。



★パソコン部 全国大会出場

パソコン部の和田明花音さんが第38回全国パソコン競技大会情報処理技能表計算の部に出場しました。



千種高校

★第50回文化祭



「彩」～1人1人が主役～をスローガンに、各学年発表、カルチャー部発表、模擬店、展示等を行いました。



★食育特別授業

給食センター栄養教諭世良様のご指導の下、給食づくりに挑戦しました。



わ
れ
ら
ち
く
さ
っ
子

【令和6年度千種まちづくり推進委員会総会】

7月6日、「令和6年度千種まちづくり推進委員会総会」をライブラリーちくさ（3階ホール）で開催しました。ここ数年間はコロナ禍により書面決議がつづいていましたが、今回は委任状出席も含めて60名余りの参加となりました。

令和5年度の事業・収支決算報告の後、「今後の方向性及び新たなまちづくり組織の設立に向けた準備委員会の設置について」や



「役員改選案」、「令和6年度の事業計画案・収支予算案」が審議され、全て原案通り承認されました。右ページに詳しく載せていますが、今後、（仮称）NEWまち推設立準備委員会で新たな組織体制やまちづくり計画について検討・協議し、できれば今年中に新たな組織の設立を目指していきます。



【第4回 ちくさええとこ未来会議】

7月6日、「千種まちづくり推進委員会総会」後に『ちくさええとこ未来会議』を開催しました。4回目となる今回は、「どうなる千種？どうする千種？千種のこれからを話そう！」と題し、高校生から80歳代まで60名以上の参加がありました。

まずは、これまでの経緯や積み重ねてきた中から出てきた「千種の将来ビジョン」（※右ページ）を発表してもらいました。それを受けてメインの意見交換では、A～Gまでの7グループに分かれて、基本目標毎に取り組みのイメージについて話し合いました。アンケート結果や未来会議から導き出された【主要な目標】に加えて、「自分がやりたいこと」や「既存の取組で工夫できそうなこと」、「これから新たに必要と思う取組」などを出し合い、グループ内でその優先順位を決めながら仕分けていきました。席順が抽選だったため最初は様子見でしたが、徐々に慣れてきてどのグループも積極的に対話できていました。あっという間に時間は過ぎて、まだまだ話し足りない様子でした。



最後は、千種町連合自治会 春名会長の挨拶で締めくくられました。話の中に出てきた「私たちは今、千種にとって非常に大きな分岐点に立っている！」というフレーズが、参加者を奮い立たせました。さて、これからはみんなで楽しみながら、活動していきましょう！

千種まちづくり計画：将来ビジョン

豊かな自然につつまれて、
人と人があたたかくつながるまち

- ち** くさを好きな人たちが暮らす、住んでも来ても楽しいまち
～楽しんで続けられる仕組みを取り入れよう～
- く** うきを胸いっぱい深呼吸、自然と共に生きるまち
～美しい田舎風景を残そう～
- さ** さえあいで生きる 違いを認め合い、良さを活かしあうまち
～大好きなちくさでつながり支え合おう～
- え** えつなかりで子どもを育てる 人が豊かなまち
～みんなでちくさっ子を育てよう～
- え** がおあふれるちくさの暮らし みんな元気で健康なまち
～心と体の健康づくりに取り組もう～
- な** かまが見つかる！誰でもチャンスに出会えるまち
～人づくりを大切にしよう

「千種まちづくり計画書」は、住民アンケートやちくさええとこ未来会議などで出されたみなさんの思い・意見を集約したものです。

【NEW まち推設立に向けて】

NEW まち推の組織づくりに向けて、「これからの千種のまちづくりに関する説明会」を開催し、賛同いただける各種団体代表者により、「(仮称) NEW まち推設立準備委員会」を設置しました。

7月には、第一回目となる委員会が開かれて組織体制の検討と協議が行われました。「宍粟市参画と協働のまちづくり指針」の説明や、組織体制などについて先進地域の事例を聞き、意見交換では委員からの疑問点や意見が多く出されました。この後も月1回ペースで組織体制や規約、まちづくり計画書などについて協議を重ね、12月には新しい組織の設立を目指しています。

新組織の設立に伴って、年度末には「千種まちづくり推進委員会」は解散し、令和7年度より新たな「まちづくり運営組織」がスタートする予定です。



ここで暮らすうえでの危機感や千種を大切にしたいという思いに共感する仲間が集まり、その思いをみんなで共有できる「まちづくり」を目指していきましょう！

ちよっと大きなフリーマーケット

開催決定!!

日時：令和6年11月2日(土)
13時～16時(予定)
場所：イーガイヤちくさ(屋内運動場)

ただ今、出店者を募集中です。
お申し込み・お問い合わせは、
「ちくさええとこセンター」まで。
(☎0790-71-0230)

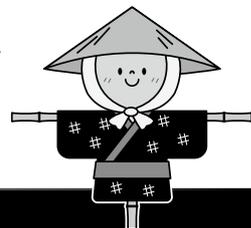
岩野辺第1集落協定の農地管理の取組

をご紹介します!

今の農地について思うこと

一昔前のこの時期は、あちらこちらで家族そろっての稲刈り風景が見られました。千種ではごく普通のことでしたね。しかし、人口減少と少子高齢化による農家の人手不足、後継者不足がとても深刻となり、家族そろっての稲刈りも減っています。地域内では、先祖代々から引き継いだ農地を何とかしたいと思っても、自分ではどうにもできなくなったとの声が多く聞かれます。管理が行き届かない農地が増えていき、稲刈り風景も様変わりしてきました。

今や、農地管理は、何とか自分で続けられる人と、他人から頼まれる一部の人が担っている状況です。少人数で管理できる農地には限界があり、何らかの対応を考えていく必要が生じています。



農地を守るこれまでの取組

このような中、岩野辺第1集落協定では、地域で連携して農地を管理していく仕組みの一環として、いわゆる中山間補助事業を活用して、農業用機械倉庫を建設し、トラクター、畦塗機、田植機などの共同機械の購入を順次進めながら、個人で機械を所有しなくても、これらの機械を地域で活用できる仕組みを作ってきました。

この5年間は、法面草刈作業の機械化・省力化をどう進めていくのか、このことについて何回もの協議を重ね、コメ作りができる農地には、歩行型の法面草刈機を、コメ作りができなくなった農地には、ミニコンボによる法面草刈機を導入・活用することとしました。

地域でミニコンボのオペレーターを募集!

整地や水路清掃等用のミニコンボを昨年購入していましたので、7月の役員会で、①このミニコンボを活用して、法面草刈作業の機械化・省力化を図ること、②安全対策を徹底するために法令講習の受講者によるオペレーター集団を作ることを決定し、運用に向けた体制づくりがいよいよスタートしました。

オペレーターの募集をしたところ、多くの方のエントリーがありました。8月31日(土)、9月1日(日)の2日間で行った『岩野辺公民館での出張法令講習会』には、20名が参加し全員が資格を取得しました。既資格取得者とあわせると30名ほどの集団となります。今後は、オペレーターの安全操作研修を重ね、管理が行き届かない農地を分担して管理できるようにしていきたいと思えます。

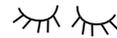


文責：岩野辺第1集落協定代表 小河秀義



新聞紙を何回折ったら富士山の高さに??!!

ちょっと一息



富士山の高さは、ご存じの通り3,776mです。一枚の新聞紙を何回折りたたむと富士山と同じ高さになるでしょうか。100回? 200回? 実際に考えてみましょう。

新聞紙の厚さは(分かりやすく)約0.1mmだとします。一回折ると厚さが0.2mm、二回折ると0.4mmになります。

このように折る回数が増えるたびに厚さは倍になっていきます。

これを繰り返していくと、なんと、たった25回折っただけで、3,355,443.2mm。つまり約3,355mになり、ほぼ富士山の高さと同じになってしまうのです。皆さんも一度やってみましょう。

春名 勉

25回で終わり~
ほんまかいな~



ペンリレー 第17回

堀田 佳宏さん・美江さん



Q 自己紹介

堀田 佳宏（49歳）、堀田 美江（48歳）、娘は結衣子（13歳）です。

Q お仕事は何をされていますか？

3月に小学校の教師を退職し、山崎町のとりこしや（旧ふとん店）を改装して、学習塾『てふてふ』を、妻はリラクゼーション『ほぐほぐ』を開業しました。手作り雑貨屋『みてみて』や、ほっとできる居場所『きてきて』など、たくさんの人が集える複合施設として少しずつ広がっています。

Q 趣味は？

オリックスバファローズの応援、妻はパステル画を描くこと。

Q 何をしている時が一番楽しいですか？

どうしたら子どもたちが勉強に興味を持ってくれるのか考えながら、工夫して教材作りをしているとき。妻は、心と体の仕組みを勉強しているとき。

Q 夢は何ですか？

宍粟市てふてふ杯百人一首大会を開催したい。妻は、出張リラクゼーションで、世界中を飛び回りたい。

Q 千種町への思いは？

たくさんのアイデアを取り入れて、もっともっと住みよい千種になったらいいなあと思います。でもアイデアが浮かばないので、美術の好きな娘が将来デザイナーとなって、千種をプロデュースしてほしいです。

Q 次回の紹介者は？

猶原 千恵さん



藍ある暮らし

都留 まりよ

この3月まで一宮町染河内で「地域おこし協力隊」として活動し、この4月から千種町に暮らし始めた都留と申します。

「藍ある暮らし」という屋号で、藍染と草木染を生業としています。自然豊かな宍粟市で栽培、採取した植物を中心とした草木染や藍染の活動が中心で、染めた手ぬぐいや洋服などをマルシェなどで販売しています。今年に入り宍粟市の「ブランド認証品」に選出していただきました。

また、染物業とあわせ「たかのす東小学校」のスタッフとして、月一回、東小学校での染物体験や季節のクラフト体験を開催しています。地域の皆様もお気軽にご参加ください。直近のイベントは以下の通りです。

★べんがら型染体験

9月21日（土）15：00-17：00 ころ 1,600円

手ぬぐいに日本古来の染め技法である型紙を使った染色を体験します。

染料は天然染料である「べんがら」（土からとれる染料）です。お申込み必要、定員があります。



これからも地域の自然を活かした活動、土地と調和した染めものに取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いたします。

藍ある暮らし e-mail tsuru.indi5@gmail.com

インスタグラム [ai.aru.kurashi](https://www.instagram.com/ai.aru.kurashi)

※電話が圏外のため上記のメッセージからお問い合わせいただくと幸いです。

※電話での連絡手段のみの方は、たかのす東小学校へお問い合わせ下さい。

盆踊り特集 2



1枚の写真

～ちくさの昭和～

右の写真は、「ちくさえとこネット」の「フォト千種昔々」にも載せているものですが、千種南小学校（現千種小学校）の校庭で行われた盆踊りの風景です。懐かしい匂いでもしてきそうなおセピア色の光景とともに当時の思い出が広がります。帰省した親戚たちも懐かしい方々との会話を弾ませ、子どもたちもその賑わいに喜びはしゃぎまわりました。昭和40年代前半、外出や娯楽の少なかった時代には、得難い出会いの場であったのかもしれませんが。こういった風景は、日本中で見られた夏の風物詩でした。

